

経 済 日 誌

兵庫県

2018年4月～6月

04/01 関西みらいFG始動

みなと銀行（神戸市）、関西アーバン銀行、近畿大阪銀行（大阪市）の3地方銀行は経営統合を完了し、3行を傘下に収めた「関西みらいフィナンシャルグループ」（FIG）が東京証券取引所市場第一部に上場した。同FIGはりそなホールディングス（HD）が51%出資。みなと銀行の服部博明頭取は「地場産業の活性化など地域密着の事業モデルを磨き、存在感をさらに高めたい」と強調した。

04/01 神戸空港民営化 関西3空港一体運営開始

神戸空港が民営化され、関西、大阪（伊丹）両空港と合わせた関西3空港の一体運営が始まった。「競合」から旅客増大に向け「協力」へシフトしていく。

04/05 明石海峡大橋開通20年

神戸と淡路島をつなぐ明石海峡大橋は開通20年となった。架橋技術の高さを示す2つの主塔間の距離（中央支間長1991メートル）は今なお世界一を堅持している。17年度の利用者は過去最多の1353万台となった。

04/19 工場立地63件 全国2位

県内の2017年の工場立地件数（63件）が全国2位だったことが明らかになった。新名神高速道路の開通に伴い周辺道路交通状況の改善も見込めることから、用地取得企業が増えたとみられる。

05/03 県内倒産件数7年ぶりに増加

帝国データバンク神戸支店がまとめた2017年度の県内企業倒産件数（負債1千万円以上）は、前年度比7.5%増の458件で7年ぶりに増加した。大型倒産が減ったため、負債総額は351億4200万円と同15%減少した。

05/15 米コンサル「マッキンゼー」神戸に研修所

米コンサルティングのマッキンゼー・アンド・カンパニーは今秋にもアジア初の研修施設「神戸ラーニングセンター」を神戸市に開設する。世界では米国とオーストラリアに次ぎ3カ所目。

05/27 県内上場企業6割超 利益改善

県内に本社・本店を置く上場企業78社の2018年3月期決算が出そろった。純損益が前期より改善した企業は49社（63%）と、前期（58%）に比べて5ポイント拡大。訪日客需要が貢献。

05/29 大卒内定率94.6% 2011年度以降最高

今春卒業した県内の大学・短大生の就職内定率（4月1日時点）が、大学生94.6%（前年同期比0.1ポイント増）、短大生95.3%（同1.2ポイント増）となり調査を始めた2011年度以降で最高となった。

06/07 県内労災死者 最少30人

昨年県内で起きた労働災害（労災）による死者数は16年比14人減（31.8%減）の30人でデータが残る1958年以降で最少となった。

06/12 神戸港ノコギリの輸出増加

神戸税関によると2017年の神戸港のノコギリ輸出額は13億5100万円で全国の約7割を占め、5年前より59%増加した。三木市などの産地が国際見本市への出品を積極化したことが要因。

06/12 県内景況 マイナス

神戸財務事務所の4～6月期の県内法人景気予測調査によると、全産業の景気判断指数（BSI）は前期比6.5ポイント悪化の▲7.5。「先行き」は1.9と改善を見込む。

06/18 神戸港 5月の輸入額単月過去最高

神戸税関によると5月の神戸港貿易概況は、輸入額が前年同月比12.7%増の3109億円と、統計を取り始めた1979年以来、単月で過去最高額となった。アジアや欧州からの荷動きが活発だった。